新春を迎えて

社団法人　岐阜県都市整備協会
副会長　　室　戸　英　夫

新年、あけましておめでとうございます。

清々しい平成21年の新春を迎え、謹んで会員の皆様に心からお祝詞申し上げます。

会員の皆様には、日ごろから土地区画整理事業をはじめ、まちづくり事業の推進にご尽力賜り厚くお礼申し上げます。

さて、原油をはじめとする資源・食糧品価格の高騰、米国のサブプライムローン問題等に端を発した世界的な金融不安、新興国や資源国の急速な発展による経済の多極化等により、日本経済はかつてない難題に直面しています。

また、少子高齢化や情報化による社会情勢の変化、地球環境から身近な環境問題への対応など、様々な分野にわたり複雑な課題が山積しています。

しかし、これらの課題解決のために、まちづくりの市街地整備施策は引き続き大きな役割を果たすことが期待されています。なお、具体的にこれらの事業を進めるために重要な施策としての「道路特定財源問題」につきましては、昨年の閣議決定で（一般財源化の方針）が出されましたが、多くの国民の声を反映して新たな交付金制度なども検討され、国の平成21年度予算編成などが進められているようです。

まちづくり事業の推進に必要な制度や事業費確保などにつきましては、会員皆様の一層のご理解とご支援が必要と考えますし、それぞれの事業推進には、事業費縮減や効率的な事業運営に一層努力されますことをお願い申しあげます。

当協会といたしましても、このような社会・経済情勢の大きな変化の中で、情報化の積極的な推進、まちづくり事業の新たな展開などへの取り組みなどを、会員皆様方のご要望をお聞きしながら進めてまいりたいと考えます。

今後とも、これまで以上に役職員一同努力する所存でございますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いしまして、年頭のごあいさつといたします。